

ベビーバスを適切に使用しましょう

東京消防庁管内では、ベビーバス使用中の事故により、平成24年からの5年間に、3歳以下の乳幼児45人が救急搬送されています。

東京都生活文化局が実施したアンケート調査でも、ベビーバス使用中に次のような事故が起きていることがわかりました。



こんな事故が起きています

- 赤ちゃんの体を洗っているときに、目が別な場所に移っていて、子供の口元にいていなかったため、気が付いたら腕が下がって、口元に水がきていた。（男児・3か月から6か月）
- 子供をベビーバスに入浴させる時、バスタオルを探した。赤ちゃんは顔まで水に入っていて、すぐに引き上げた。（男児・1か月）
- 腰が痛かったので、ベビーバスを浴槽の蓋の上に置き洗おうとしたら蓋が滑り落ち、ベビーバスも落ちた。（男児・1か月）

事故を防ぐポイント！

- 母親学級・両親学級を受講するなどし、あらかじめベビーバスの安全な利用方法を学びましょう。
- ベビーバス使用中は子供から離れず、常に大人が見守ってください。やむを得ず離れなくてはならない場合は、子供をベビーバスから出しましょう。子供は深さ数センチの水でも溺れることがあります。またベビーバスの「股当て」は溺れを防止するためのものではありません。
- ベビーバスを、お風呂の蓋の上で使用しないでください。転落のおそれがあります。

◎関連情報

「ベビーバス使用中は、少しの間でも子供から離れないで！ ～ベビーバスの安全な使用に関する調査を実施しました～」東京都生活文化局

<https://shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/babybath.html>

「浴そうふたビデオ 2016」製品安全協会業務グループ

<https://www.youtube.com/watch?v=Vc1aHWW8I3I>